

教 育 委 員 会 会 議 録

(定 例 会)

令和8年4月22日（水）開催

嬉野市教育委員会

第1回嬉野市教育委員会議録（定例4月）

- | | | | |
|---|------|------------------------|--------|
| 1 | 開催日時 | 令和8年4月22日（水）9：55～11：55 | |
| 2 | 開催場所 | 嬉野市役所 塩田庁舎 3-2会議室 | |
| 3 | 出席委員 | 教 育 長 | 杉崎 士郎 |
| | | 教育長職務代理者 | 永田 由美 |
| | | 委 員 | 宮崎 憲太郎 |
| | | 委 員 | 荒武 治美 |
| | | 委 員 | 中島 構治 |
| 4 | 欠席委員 | なし | |
| 5 | 出席者 | 教育部長 | 森永 智子 |
| | | 教育総務課長 | 大曲 良太 |
| | | 学校教育課長 | 河村 賢 |
| | | 社会教育課長 | 小原 和子 |
| | | 教育総務課副課長 | 織田 理 |
| | | 指導主事 | 西島 拓也 |
| | | 指導主事 | 徳永 倫子 |
| | | 書記 | 吉居 えりな |

1 開会

2 会議録署名委員 永田委員、宮崎委員

3 議題

（1）報告

① 教育委員会事務局の各課事務分掌について

- ◆ 4月1日から、社会教育と学校教育が教育委員会の所管に戻り、学校教育、社会教育、文化財、図書館が教育委員会のエリアに含まれることになりました。学校教育と社会教育が再び一体となり、教育の両輪として機能する体制となりました。
- ◆ 教育部長、教育総務課長、学校教育課長、社会教育課長という組織体制で運営されます。
- ◆ 現在、市史編纂の作成中です。上巻と下巻が完成し、中巻と資料編がまもなく完成する見込みです。
- ◆ 次の編纂は約50年後と予想されるため、今回の編纂は重要なものです。

② 3月議会について（会期日程、一般質問）

- ◆ 2月27日から3月19日まで、令和8年度第1回定例議会が開催されました。

水山 洋輔 議員からの質問

- ・図書館と歴史資料館の移転検討について質問がありました。
- ・歴史資料館は現状維持としつつ、図書館については塩田中学校の図書館と統合・拡張する案や、電建地区内の空き家を活用する案などが検討可能であると答弁しました。

諸上 栄大 議員からの質問

- ・プログラミング教育について市長への質問がありました。
- ・教育委員会としては、学校教育におけるプログラミング的思考を深めることを主眼としている旨を説明しました。

芦塚 典子 議員からの質問

- ・教育環境の整備と学力向上に関する政策について質問がありました。
- ・具体的な答弁はなかったが、吉田小学校、吉田中学校の学力向上策を検討中であり、6月議会により具体的な内容を述べられる見込みです。

辻 浩一 議員からの質問

- ・学校の統廃合について質問がありました。
- ・吉田中学校を完全に移転するようなことについては地域全体の意見を聞くべきであり、その前段として魅力ある学校づくりに挑戦したいと考えています。
- ・魅力ある学校づくりに取り組む計画であり、詳細は6月議会で報告します。

大串 友則 議員からの質問

- ・令和7年4月定例会にて「吉田中学校のより良い未来を考える会」から「吉田中学校の合併に関する陳情」が提出された件について質問がありましたが、辻議員への答弁とほぼ同じ内容で答弁しました。

阿部 愛子 議員からの質問

- ・中学校給食費無償化について質問が予想されたが、今回はありませんでした。
- ・県内で無償化が広がりつつあり、次の議会で質問される可能性があります。

③令和8年度当初予算について（教育委員会の主要事業）

- ◆ 10月の庁舎移転や施設の老朽化、物価高騰により財政的に厳しい状況であった中、ハード面、ソフト面ともに予算は十分に確保できたと思っています。

委員からの質問

Q1. リバティも含めてスポーツ関連の施設は、同じ指定管理団体で運営しているのでしょうか。

A1. 公園や北部球場は直営で都市計画課の所管だが、貸出や利用料の徴収は塩田公民館が窓口です。

Q2. AEDについて。昨年、小中学校ではどのくらい使われているのでしょうか。

A2. 昨年度は利用されていません。5～6年前に図書館で利用され、人命が助かった事例が報告されています。市民向けの講習会を毎年7月に実施しており、昨年は約100名が参加しました。

④第1回市内校長研修会について

- ◆ 社会教育、学校教育に取り組んでいる「わくわくデザイン2」が3年目を迎えました。
- ◆ 職員入れ替わりの時期なので、登校していない子供については連絡を取るなど、「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」をしっかりとってほしい。

- ◆ 「ろく・さんプラン」の取り組みは昨年まで轟小学校、嬉野小学校、大草野小学校と嬉野中学校の４校だったが、今年から吉田小学校、吉田中学校、嬉野小学校および嬉野中学校も合同で実施しました。
- ◆ 教育委員会と校長先生方と連携して子供たちの学力を高めていきたいと考えています。家庭でしつけて学校で学力をつけて、地域で育てる、そのためにコミュニティがある、という考えを伝えました。
- ◆ いじめ、不登校、別室登校の状況を報告しました。五町田小学校は不登校ゼロになったが、人不足で職員確保に苦労しています。

⑤社会教育・公民館事業等について

- ◆ 年間行事予定の報告
- ◆ 囲碁教室から県大会優勝者が出るなど、優秀な生徒が輩出されています。
- ◆ 10月1日の庁舎移転に伴い、社会教育課の職員は嬉野の市民センターへ移転し、中央公民館の機能も嬉野に移る予定です。
- ◆ 塩田公民館には館長と事務職員が残ります。
- ◆ 関連する条例改正案を6月の議会に提出予定です。

⑥奨学資金の貸与について

- ◆ 3月の教育委員会後に、教育委員による審議で決定した内容です。
- ◆ 令和8年度の貸付総額は1195万2千円。大学生15名。専門学生4名、高校生4名の計23名に貸し付けを決定しました。

⑦その他

- 学校施設長寿命化改良事業（大草野小学校）の進捗について
 - 国の交付決定が遅れてスケジュールが大幅に遅れたが、工事業者が決定し、4月21日から工事が開始されます。令和9年3月の完了見込です。
 - 保護者への説明をPTA総会で行う予定です。
 - 学校の長寿命化計画については、令和2年に作成した頃に比べると経費がかなり増額していることから、将来を見据えた学校の再編なども考えて見直しを検討しています。
- 伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱の改正について
 - 平成18年に定められた補助金の交付要綱について、今回見直すことになりました。補助金限度額を現行の2倍に引き上げる改正案が審議会で決定されました。
- 小学校の民間プール活用について
 - 今年度から嬉野小学校、轟小学校が新たに利用を開始しました。
 - 子ども達には好評で、不登校気味の児童も参加するなど良い効果もみられていると感じています。
 - 夏場だけでなく、年間を通して計画的に水泳指導ができます。
 - 経費は年間約1,200万円だが、各学校での維持管理や教員の負担軽減を考えると、費用対効果は高いと考えています。なにより子ども達が喜んでいます。

(2) 協議

①②③嬉野市 教育新時代プランⅡの概要（令和八年度）

- ◆ 概要について説明します。追記した箇所について次回までに意見をいただきたいと思っています。
 - ◆ 新市長のキャッチフレーズは「100 年先にも誇ることができる笑顔で明るく風通しのよい嬉野市」。子ども達は「嬉野っ子は地域の宝」であり、新たな教育改革に取り組んでいきたいと考えています。
- ＜異議なし＞

④外国語教育における「確かな生きる力」としての取組み

- ◆ 吉田小学校、吉田中学校に英語の教員を配置して英語漬けの環境をつくり、嬉野市内の外国語教育の中心としていきたいと考えています。
 - ◆ 嬉野市では、家庭ではなく学校で英検対策を行い、中学 3 年生で英検 3 級取得が目標です。
 - ◆ 高額な費用がかかる民間の英会話教室と比較し、公立の学校で集中的に英語を学べる環境があるのは非常に魅力的だと思っています。
- ＜異議なし＞

⑤嬉野市教育委員会学校訪問のあり方と内容について

- ◆ 吉田小学校、吉田中学校で第 2 回か第 3 回の教育委員会を開き、オンライン英会話の見学をする計画を提案します。
 - ◆ 本年度の教育委員会による学校訪問による対象校は五町田小学校、久間小学校、轟小学校、吉田小学校、嬉野中学校だが、日程は学校と調整中です。
- ＜異議なし＞

⑥社会教育委員との合同会議の実施について

- ◆ 年後半にテーマを決めて実施する方向で進めています。
- ＜異議なし＞

⑦大村市教育委員会との意見交換会について

- ◆ 嬉野市の新庁舎に移転してから開催してはどうでしょうか。10 月上旬で調整したいと考えています。
 - ◆ 大村市から、子ども達の交流をしようかと提案があった。全国の都市教育長会が 5 月 13、14、15 日に高知であるので、その時に具体的な話をするようになりました。
- ＜異議なし＞

（3）その他

①次回定例会

- ◆ 令和 8 年 5 月 20 日水曜日 10 : 00～
- ◆ 場所は未定

4 閉会